

2025

9.3 (水)

12:10
12:50

12:10-12:15

◆発表者紹介

12:15-12:40

◆プレゼン

12:40-12:50

◆質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_ElUbiBu7T8W7rFVD81ZL5Q

【技術支援】九州大学 Q-AOS

神話から事実へ：

脳の健康と精神的健康に対する天然製品のメリットと科学的根拠

3 すべての人に
健康と福祉を5 ジェンダー平等を
実現しよう9 産業と技術革新の
基盤をつくろう10 人や国の不平等
をなくそう11 住み続けられる
まちづくりを16 平和と公正を
すべての人に

Key Words

システム生命

神経情報科学

天然製品

ウェルビーイング

嗅覚シミュレーション

心理生理学

ゼニファ ファディラ 特任助教

九州大学 農学研究院 環境農学部



ゼニファ氏は現在、農学研究院の特任助教として勤務しています。インドネシアの小さな町で育ちました。そこでは、ヘルスケアなどの技術があまり普及していませんでした。彼女は、発展途上国における技術の普及を支援したいという思いから、センサー、人工知能、神経情報科学を含むシステム開発の学問分野を追求してきました。2020年に九州大学大学院システム生命科学府で博士号を取得しました。その後、九州大学先端核融合研究センターで2年半働きました。また、さまざまなジャーナルの査読者にもなっています。現在、天然資源に関する科学的証拠の発見と健康のための機能改善に貢献するため、天然資源における人間の心理生理学変化を調査するシステムを開発しています。

特定の香りが思考力や気分を向上させるという通説は、どの国にも広く浸透しています。しかし同時に、香りの潜在的な悪影響を回避するためには、その機能を証明する必要があります。私たちの研究グループは、空気中に放出される特定の化学物質が脳や精神衛生にどのような影響を与えるかを明らかにしようとしています。また私たちは、系統的森林・林産物科学研究所に所属しており、香りに関するプロトコルの開発と試験は、科学的根拠を提供するための重要なツールであると考えています。私たちの探究的な取り組みは、人間の幸福に関する研究や生物多様性の損失軽減など、様々な用途に活用できる可能性があります。本セミナーでは私たちの研究グループが行った様々な研究成果を発表します。香りから放出される揮発性化合物と、様々な生活場面における脳や精神の健康への影響との関係性を明らかにするためのアプローチについてです。